

『概念分析の社会学—社会的経験と人間の科学』合評会のご案内

このたび STS Network Japan では、大阪大学グローバル COE プログラム「コンフリクトの人文科学」RF「コンフリクトと価値」ほかとの共催で、『概念分析の社会学—社会的 経験と人間の科学』（酒井泰斗・浦野 茂・前田泰樹・中村和生 編、ナカニシヤ出版）の合評会を行います。

同書は、エスノメソドロジーの立場から、生物学的人種や遺伝学的知識、ポルノグラフィ、化粧などの多様なトピックに、「概念分析」をキーワードにアプローチした 論文集です。科学技術にかかわる問題群に、従来の S T S 研究にないアプローチで分析を行う、大変、刺激的な著作です。

今回、同書の編著者から 5 名をお招きし、同書の合評会を行うことになりました。同書をご入手のうえ、ぜひふるってご参加ください。

(参加登録不要、参加費不要。どなたでもご参加いただけます。当日、直接、会場にお越しください。)

日 時：2010年1月11日(月)13時～16時

会 場：大阪大学豊中キャンパス・実践センター教育研究棟 1

(旧自然科学棟)・ステューデント・コモンズ 2 階セミナー室 1

<http://tinyurl.com/yd4y3c8> (ステューデントコモンズ地図)

<http://tinyurl.com/y8hdygz> (豊中キャンパス地図; 41 番の建物)

アクセス：阪急電車宝塚線石橋駅(特急・急行停車)下車徒歩 15 分

あるいは大阪モノレール柴原駅下車徒歩約 10 分

主 催：STS Network Japan

共 催：大阪大学グローバル COE プログラム「コンフリクトの人文科学」
RF「コンフリクトと価値」ほか

同書の目次は下記の通りです。

詳しくは、WEB サイト(<http://socio-logic.jp/ethnomethodology2.php#toc10>)をご覧ください。なお、当日は、★の執筆者にご参加いただく予定です。

はじめに (浦野茂★)

第 1 章 類型から集団へ ——人種をめぐる社会と科学—— (浦野茂★)

第 2 章 遺伝学的知識と病いの語り ——知識と経験をめぐるメンバーシップ・カテゴリー化—— (前田泰樹★)

第 3 章 医療者の〈専門性〉と患者の〈経験〉 (安藤太郎) 第 4 章 触法精神障害者の「責任」と「裁判を受ける権利」 ——裁判と処罰を望むのはだれなのか—— (喜多加実代)

第 5 章 「被害」の経験と「自由」の概念のレリヴァンス (小宮友根★)

第 6 章 化粧と性別 ——〈素肌〉を見るやり方—— (上谷香陽)

第 7 章 優生学の作動形式 ——永井潜の言説について—— (石井幸夫)

第 8 章 科学社会学における「社会」概念の変遷 (中村和生★)

おわりに (酒井泰斗★)

なお、本合評会の最新情報については、STS network Japan のブログ (<http://stsnj.org/nj/index2.html>) をご覧ください。